

JSPN-KSPN 若手・中堅小児神経外科医交換留学プログラム

2025年度 交換留学プログラム JSPN派遣小児神経外科医公募のお知らせ

日本小児神経外科学会会員 先生方へ

1. 目的

日本小児神経外科学会（JSPN）と韓国小児神経外科学会（KSPN）の交流事業の一環として小児神経外科医交換留学プログラムを実施しております。

KSPNは少数精鋭主義ではありますが、欧米的なシステムのもとで症例の集約化が進んでおり、ソウル大学小児病院、延世大学のSeverance病院小児神経外科の手術件数は700-800件とのことであり、この他にもAsan Medical Center, Catholic Medical Universityが300件前後になります。小児神経外科として腫瘍・先天奇形以外にも血管障害・てんかん・痙縮など全領域に取り組んでおり、その活動性の高さには瞠目すべきものがあります。一方で、ソウル地区以外では小児神経外科の活動は極めて限られているという問題も抱えています。

KSPN-JSPN交換プログラムでは日韓の小児神経外科学会若手・中堅メンバーの臨床を通しての交流をはかることを目的としています。実際の手術・病棟管理・カンファレンスを一緒に行うことにより、臨床面のみならず文化面も含め相互の理解を深め、意義あるものに育てていきたいと考えます。とりわけ、日韓のこのような圧倒的な症例数の違いがある中で、若手・中堅の小

児神経外科医の皆さんに、どのようにしたら国内から海外に発信し国際的に通用する仕事ができるかを考えるいい機会にさせていただければと願っています。

2. 人数・研修期間

毎年JSPNが選出した若手・中堅の小児神経外科医一名を派遣します。

期間は、2週間から8週間で予定しています（特に限定はありませんが、原則として2ヶ月以内）。

3. 応募資格

対象は日本小児神経外科学会会員歴3年を有し、原則として脳神経外科専門医取得後15年以内（出産・病気による休職期間は含めない）の若手・中堅医師とします。

ただし、将来的に小児神経外科を目指す専門医試験前や後期研修中の脳神経外科医でも、本人の強い希望があれば応募は可能です。

2025年6月に開催される第53回日本小児神経外科学会において、KSPN-JSPN joint sessionで発表することを本年度の応募資格に加えます。

4. 滞在中の諸問題

旅費・滞在費は個人負担です。滞在中の食費なども個人負担となります。

5. 派遣医師応募

上記に基づき2025年度のJSPN派遣小児神経外科医を公募します。本事業の趣旨をご理解いただき、積極的に応募してください。

応募にあたりましては、現在所属している施設長の許諾が必要です。研修期間中の業務に支障が生じないように、事前に相談して下さい。

6. 応募締め切り

応募申込期日は2025年1月31日までとします。

日本小児神経外科学会国際委員会にて協議した上で派遣医師を選出し、理事会の了解をもって最終決定します。

尚、応募医師が無かった場合には、国際委員会での協議を経て派遣医師を推薦する場合があります。

7. 帰国後業務

原則として、帰国後に研修報告を「小児の脳神経」に寄稿していただきます。また、日本小児神経外科学会総会で研修体験を発表していただきます。

研修終了時に、各施設あるいはKSPNより研修修了書を発行してもらい、受領した研修修了書のコピーを日本小児神経外科学会事務局に郵送で届け出させていただきます。

8. 応募要項

ご応募に際しては、添付の応募用紙の指示に従い提出書類を作成し、日本小児神経外科学会事務局までe-mailにて送付して下さい。

e-mail: jspn@narunia.co.jp

2024年12月吉日

日本小児神経外科学会 理事長 埜中正博

国際委員会 理事 朴 永銖

委員長 室井 愛